



X10

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

お客様へ

この度は、弊社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「X10」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

目次

安全上のご注意	3
各部の名称	6
付属品	7
ご使用の準備（はじめてお使いになる際に）	7
メニュー抽出	10
デイリーの清掃（カス箱、ドリフトレイ）	12
マシン洗浄（タブレットクリーニング）	13
ミルクシステムの洗浄（ミルクチューブクリーニング）	14
ミルク抽出口の分解洗浄	15
立下げ作業（クロージング）	16
クラリスプロスマートフィルターの定期的な交換	16
クラリスプロスマートフィルターの効果と交換時期	17
JURA コックピット（清掃系メニュー・設定系メニュー）	18
CA（カルシウム・ミネラル分）除去	19
メニューの調整	21
メッセージ表示	22
故障かなと思ったら	23
主な仕様	24
保証とアフターサービスについて	26

安全上のご注意

安全に関する重要事項です。必ずお読みください。

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きたりする可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグも含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかる、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

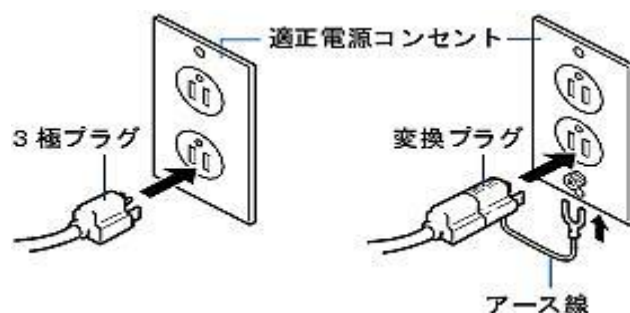
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取り付け、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいる、正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



- 使用する電源は定格 15A（100V）の壁コンセントを単独で使用してください。ゆるんだコンセント、延長コードまたはタコ足配線は使用しないでください。
- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものでお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします





注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や機器などから 10 cm 以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- お湯ではなく必ず水を使用してください。水以外の飲料やミネラルウォーター類、純水は使用しないでください。
- 浄水器（クリスプロスマートフィルタープラス又はクリスプロスマートマキシフィルター）は定期的に交換してください。



警告

操作を行なう時の注意事項

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンが作動中にホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- ミルクシステムの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくでミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。



注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒー豆用ホッパーは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくで雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分（アクリル製）にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0 度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

各部の名称

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ① 電源ボタン | ⑩ カス箱 |
| ② コーヒー豆容器（ホッパー） | ⑪ 給水口（マシン裏） |
| ③ コーヒー抽出等多機能ボタン | ⑫ 水タンク |
| ④ ディスプレイ | ⑬ 水タンクカバー |
| ⑤ コーヒー抽出口 | ⑭ クリーニングタブレット投入口 |
| ⑥ 排水トレイパネル | ⑮ 挽き目調節ダイヤル |
| ⑦ 排水トレイ受け皿 | ⑯ マシン裏カバー |
| ⑧ 排水トレイ | ⑰ 水タンク、挽き目調節、ホッパー用鍵スパナ |
| ⑨ 排水トレイスノコ | ⑱ ミルク洗浄容器 |



付属品

名称	個数
電源コード 接地タップ	1
クラリスプロスマートフィルター +	1
ミルク抽出口	2
シリコンチューブ 約 370 mm	1
ミルク洗浄容器	1
清掃ブラシセット (4 本組)	1
水タンク、挽き目調節、ホッパー用鍵スパナ	1
タブレットミルクシステムクリーナー (30g サンプル)	1
コーヒーマシンクリーナー (2 錠サンプル)	1
水硬度検査試験紙	1
ユーザーマニュアル	1

ご使用の準備(はじめてお使いになる際に)

1. マシンの置き場所

- ① マシンは、水平で、水に濡れても問題のない所を指定して設置ください。
- ② マシンは、オーバーヒートを防ぐために涼しい所に設置した上で、マシン上面の換気システムをふさがないように注意してください。

2. はじめてお使いになるときは、画面の案内にしたがって初期設定をおこないます。

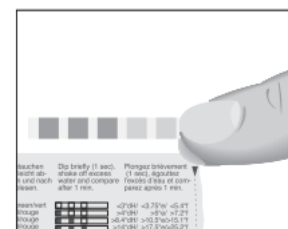
- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。必ずアース接続してください。
アースコンセントがない場合は、現在ご使用中の電化製品（エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど）のアースコンセントに共用接続してください。また、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。 **※交流 100V 定格 15A の電源を単独使用し、それ以外の電源では使用しない。**
- ② 電源ボタンを押します。

【設置場所 水の硬度の設定を行ってください。】 ※付属の試験紙で硬度を確認し、設定します。

°dH 硬度は付属のテスターを使って確認してください。

＜硬度の確認方法＞

- ① 付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約 1 秒間さらします。
- ② 水気を切り、その後 1 分間放置します。
- ③ テスターの色が赤色に変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。



<硬度の設定方法>

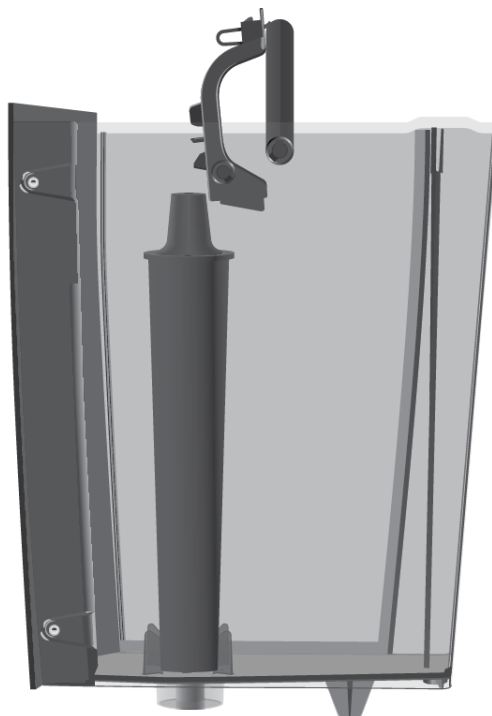
- ① 右下の ●○○> の隣のボタンを長押しして JURA コックピットに入ります。
- ② 歯車アイコンの隣のボタンを押して『水の硬度』を表示させ、その隣のボタンを押します。
- ③ 「<>」の隣のボタンを数回押して、試験紙で表示された硬度に本製品の値を設定します。
- ④ 設定したら、画面右下の「保存」の隣のボタンを押します。
- ⑤ 画面左下の「×」アイコンの隣のボタンを 3 回押してメニュー画面にもどります。

3. クラリスプロスマートフィルタープラス（以降クラリススマートフィルター）初めての使用

- ① 給湯ノズルの下に容器を置きます。（少なくとも 300ml 以上の容器）



- ② 水タンクを外し、水で洗ってください。（お湯は使用しないでください。）
- ③ 水タンク中フィルターフォルダーを開けます。
- ④ クラリススマートフィルターを下のイラストのように水タンクの中に装着します。



【注意】：

付属のクラリススマートフィルターは最初の使用時は必ず水タンクに装着してください。本コーヒーマシンはクラリススマートフィルターの装着を感知して使用準備のプロセスを継続します。クラリススマートフィルターが装着されていない場合、使用準備プロセスが中断します。

- ⑤ 水タンクに水を MAX 表示付近まで入れて水タンクをマシンにセットします（その時ハンドルだけでは水タンクを支え切れない場合があるので、ハンドルだけではなく水タンク本体の持つようにしてください）
- ⑥ タンクをセットした直後に本製品は自動的にフィルターを検出し、保存しましたと表示されます。
- ⑦ クラリススマートフィルターのすすぎが始まり、水が直接排水トレイに流れます。
- ⑧ クラリススマートフィルターのすすぎは、自動的に停止します。
- ⑨ ' システム内に水を供給中 ' が表示されマシンに水が充填されます。
- ⑩ 自動的に停止し、クラリススマートフィルターのすすぎが完了。容器にたまった水を捨て、メニュー画面が表示されたら準備完了です。

4. コーヒー豆の補給

コーヒー豆容器には、香りを逃がさないためのフタが付いており、コーヒーのアロマを永く保ちます。

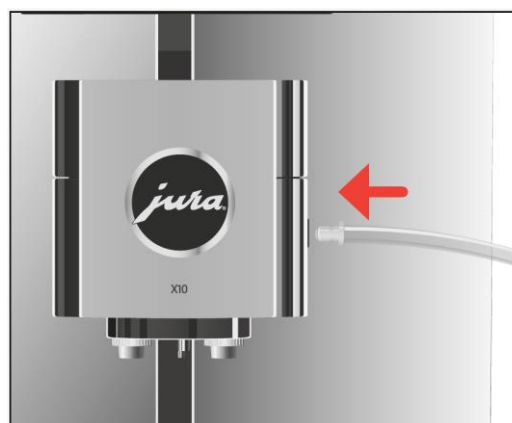
- ① 豆容器蓋を開けます。



- ② コーヒー豆容器に異物がないか、確認してください。
- ③ コーヒー豆を入れてフタをしっかりと閉めてください。
- 🔔 コーヒー豆容器には、粉コーヒーやフリーズド・ドライコーヒー、水、コーヒーマシンクリーナーを入れないでください。グラインダーの故障につながります。

5. ミルク接続

ミルクチューブをミルク抽出ノズルの右側にある吸い込み口に接続し、ミルクチューブ先端をミルククーラー内のミルク容器へ差し込んでください。



メニュー抽出

■メニュー抽出

※メニュー画面イメージ（デフォルト設定）

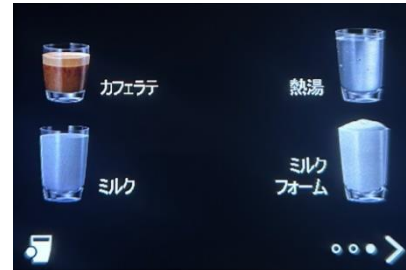
1 ページ



2 ページ



3 ページ

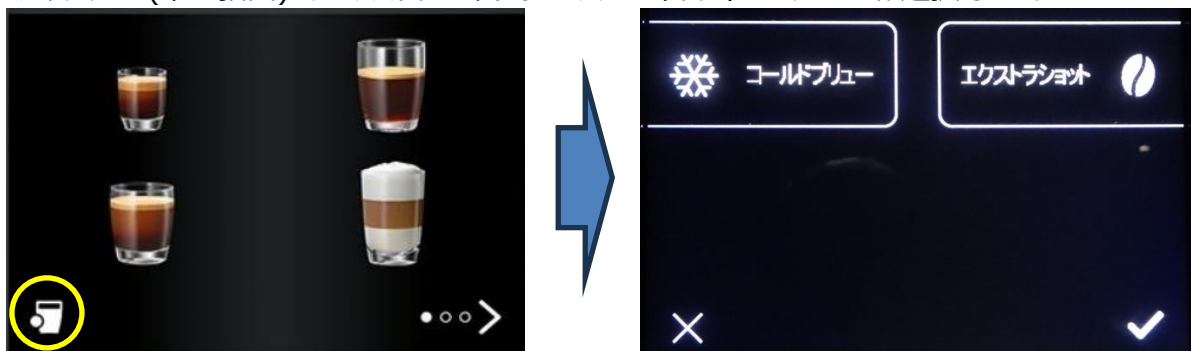


右下の●○○>の隣のボタンを押すと画面が変わります。

- ・メニューアイコンの隣のボタンを押すことでメニューが抽出されます。
- ・豆の量を変更する場合は、グラインダー動作中に画面下の「<>」の隣のボタンを押します。
- ・抽出する湯の量を変更する場合は、コーヒー抽出中に画面左右の「<>」の隣のボタンを押します。
- ・変更した値を保存する場合は、画面右下の「保存」表示の右のボタンを押します（この変更は次回抽出から毎回適応されます）。この操作を行わない場合、値の保存はされません。
- ・恒久的なレシピの変更を行なう場合は、変更したいメニューアイコンの隣のボタンを二秒以上長押しして表示された画面から実施します。21 ページの「メニュー調整方法」を参照ください。
- ・エスプレッソ、コーヒー、アメリカーノなどコーヒー単体のメニューは 2 回同時に抽出することが可能です。2 回抽出する場合は 2 秒以内に 2 回抽出メニューボタンを押します。グラインダーを 2 回回し、粉量と湯量を 2 回分使用して抽出を行ないます。
- ・抽出を途中で終了する場合は画面左下の「×」アイコンの隣のボタンを押します。

■スペシャルティセクション抽出

※コールドブリュー（常温抽出）やエクストラショットなどのスペシャルティセクションが選択できます。



※画面左下のカップアイコンの左のボタンを押すとプレセクション画面に遷移します。

- ・雪の結晶のアイコンの左のボタンを押すと常温抽出のコールドブリュー、豆のアイコンの右のボタンを押すと半分の湯量で 2 回抽出を行なうエクストラショットが選択できます。それぞれのボタンを押すとアイコンエリアの色が変わります。その状態で右下の ✓ アイコンの隣のボタンを押すとメニュー画面に遷移し、エクストラショットが可能なメニューにはアイコン上に豆の絵が、コールドブリューが可能なメニューにはアイコンの上に雪の結晶の絵が表示されます。

- ・ スペシャルティセクションの選択は一度の抽出で解除されますが、継続させたい場合はメニューアイコンの隣のボタンを長押しして入るメニュー設定の画面から設定が可能です。

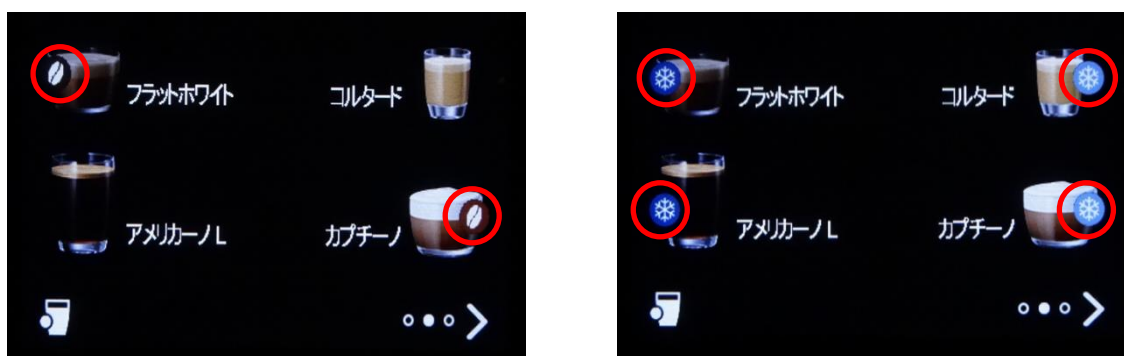
【注意】メニュー設定の画面からコーヒーメニューをコールドブリューに変更した場合、コーヒーメニューは常にコールドブリュー抽出となります。ホットコーヒーが抽出出来なくなるため、ご注意ください。

- ・ スペシャルティセクションの選択を中断させるには、スペシャルティセクション画面を再度開きアイコンエリアの色が変わっている画面の隣のボタンを押して色を変え右下の ✓ アイコンの隣のボタンを押します。

選択されてアイコンエリアの色が変わっている状態、この状態で画面右下のチェック隣のボタンを押す。



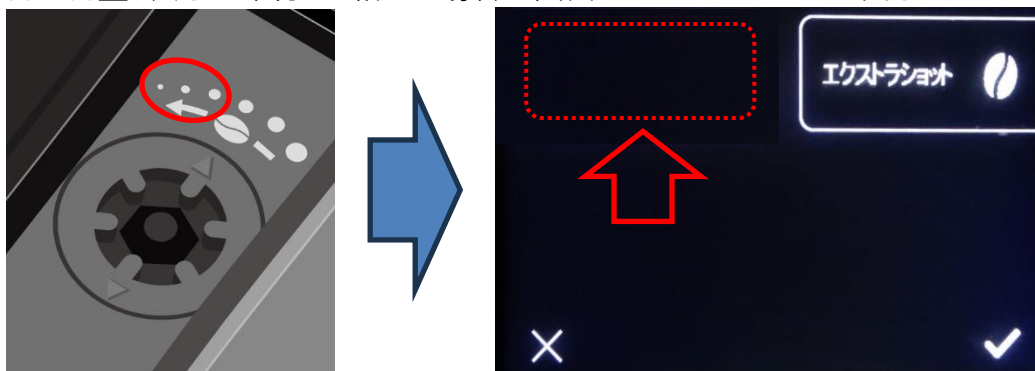
コールドブリューとエクストラショットが可能なメニューのアイコンに豆や雪の結晶の絵が表示される。



※コールドブリューの挽き目制限について

- ・ コールドブリューは常温での抽出のため、挽き目が細かい場合抽出が大変困難になることが予想されます。この状態を回避するため、挽き目が細かい場合はコールドブリューが選択できないような仕様になっております。コールドブリューのアイコンが表示されず、選択できない場合は挽き目が細かくなっていないかお確かめください。

挽き目が目盛り表示の半分より細かい場合は画面にコールドブリューが表示されません。



■グラインダーの調整

※グラインダーを操作頂く事で好みの挽き目に調整頂くことができます。



- ・ マシン後ろ奥の蓋を開けると、クリーニングタブレット投入口と挽き目調節ダイヤルが現れます。挽き目調節ダイヤルに⑰の水タンク、挽き目調節、ホッパー用鍵スパナを差し込んで挽き目を調整します。

デイリーの清掃（カス容器、トレイユニット）

1. コーヒーカス容器、排水トレイの清掃

【カス容器を空にしてください】、【排水トレイを空にしてください】が表示された時は、空にする動作と同時に清掃をしてください。

- ① 事前に抽出ユニットを上へ上げて、排水トレイを少し上へ上げながら引き出してください。
- ② コーヒーカス容器と排水トレイを空にして、ぬるま湯で洗ってください。
- ③ 排水トレイの奥にある小さな金属板は水位センサーです。金属版の表面縦の面だけではなく、折り曲げられた裏の面を乾いた布できれいに拭いてください。金属版と金属版の間に汚れやゴミがある場合は中性洗剤を付けたブラシなどでブラッシングし、汚れをかき出してください。
- ④ コーヒーカス容器と排水トレイを元にセットしてください。

2. コーヒーとミルクのすすぎ（コーヒーとミルク経路の簡易すすぎ） 【所要時間 約 30 秒】

いつでも手動でコーヒーとミルク抽出口の簡易すすぎ（ショートリンス）を行なうことができます。
（コーヒーとミルクのすすぎを独立に実施することはできません）

- ① 抽出口の下に排水受け容器を置きます。
- ② 右下の ●○○＞ の隣のボタンを長押しして JURA コックピットに入ります。
- ③ 左の青い雨だれアイコンの隣のボタンを押します。
- ④ 「リンス」表示の隣のボタンを押します。
- ⑤ ミルクシステムすすぎとコーヒーすすぎが連続して行われます。
- ⑥ すすぎ工程が完了すると自動的に停止し、メニュー画面に戻ります。



※ ミルクすすぎはミルクメニュー抽出後 15 分後に自動的に実施されます。そのためミルクメニュー抽出後は排水受けカップを抽出口の下に置く事をお勧めします。

- ◆ 180 杯の抽出または 80 回のリンスした後、ディスプレイに「マシンを洗浄してください」が表示されます。この表示がされましたらタブレットを使用したマシン洗浄を実施してください。
- 💡 業務用として使用される場合は、業務終了時に毎日マシン洗浄を実施してください。
- 💡 洗浄剤はブリーマチックジャパン指定のものをご使用下さい。異なった洗浄剤を用いるとマシンの故障につながる恐れがあります。
- 💡 洗浄プログラムは、約 20 分を要します。
- 💡 マシン洗浄プログラムを中断しないでください。洗浄の品質が保てなくなります。

マシンの画面に表示される手順に沿って、洗浄を進めてください！

マシン洗浄中に水が無くならないように、MAX ライン付近まで水タンクに水を入れてから開始してください。

1 右下 ●●>隣のボタンを 2 秒以上長押しして JURA コックピット画面に入ります。



2 左の青いクリーニングアイコンの隣のボタンを押してクリーニング画面に入り、「マシン洗浄」表記の隣のボタンを押し、「スタート」表記の隣のボタンを押します。



3 排水トレイとカス箱を空にする案内が表示されるので実施します。空にしたら排水トレイを本製品に戻します。

4 コーヒー抽出口の下に廃液受け容器を置き、「次へ」の表記の隣のボタンを押して洗浄を開始します。



5 洗浄が中断し「洗浄剤を入れてください」と表示されるので、マシン後ろ奥のマシン裏を開けてクリーニングタブレット投入口に洗浄剤を入れ、「次へ」表示の隣のボタンを押します。



6 排水トレイとカス箱を空にするように表示されるので実施します。

抽出メニューが表示されたら終了です。

【毎日のお手入れ】 ミルクシステムの洗浄(ミルクチューブクリーニング)

ミルクを使用しない場合は、この清掃は不要です。

所要時間約 2 分

- ミルクを使用したコーヒーを抽出した時には、ミルクの吸引チューブから抽出口までが汚れます。そのため、ミルクチューブ内側やミルクシステムの内側に残った油脂をきれいに洗います。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させる対策の一つとして、**毎日のマシン清掃が不可欠です。**清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したミルクフォームを抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

マシンの画面に表示される手順に沿って、洗浄を進めてください！

※ ミルクチューブクリーナーは専用のものを、清掃ブラシは付属のものを使用してください。

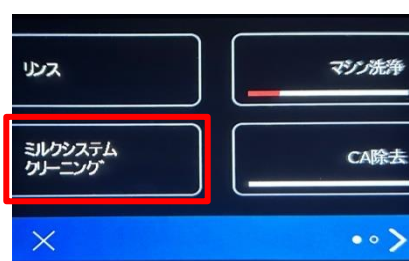
1 右下の ●●> の隣のボタンを 5 秒間長押しして JURA コックピット画面を出します。



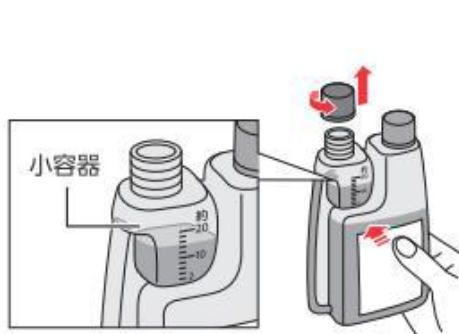
2 左の青いクリーニングアイコンの隣のボタンを押します。



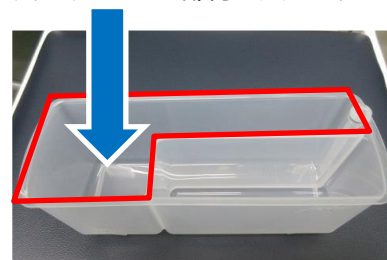
3 左下の「ミルクシステムクリーニング」の隣のボタンを押します。



4 ミルククリーニング容器(付属品)に 30ml のミルクチューブクリーナーを入れます。
クリーナー容器を軽く押すと左上側の目盛り付き小容器に薬液が移ります。



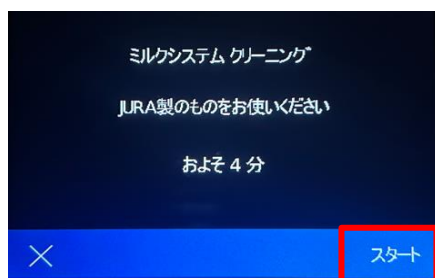
クリーナーはこの部分に入れます。



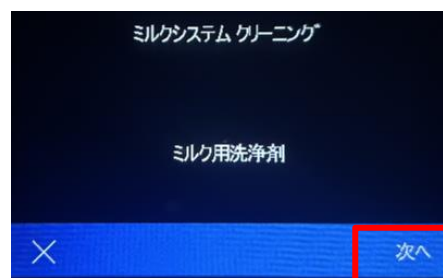
5 ミルククリーニング容器とコーヒーマシンをミルクチューブで接続します。



6 右下の「スタート」アイコンの隣のボタンを押します。



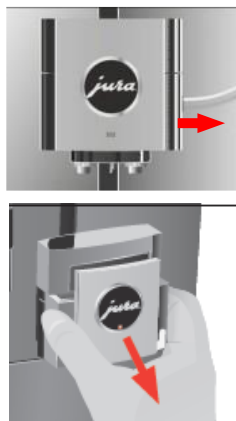
6 右下の「次へ」の隣のボタンを押してクリーニングを開始します。



【毎日のお手入れ】 ミルク抽出口の分解洗浄

- 👉 ミルクを使用しない場合は、この清掃は不要です。
- 👉 注意： 食器洗浄機、乾燥機は、破損・変形の原因となるので使用しないでください。

1 本体からミルクチューブを外し、抽出カバーを外します。



2 ミルク抽出口を手前下方方向に引き抜きます。

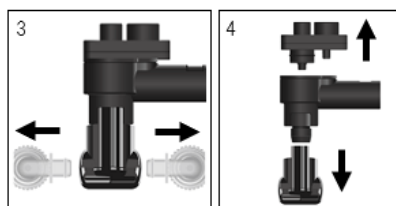


3 交換式ミルク出口を後ろ側にゆっくり 90 度回転させ、引き抜いてください。続いて、ノズル部分の上部、中央部、下部を引き抜き抜いてください。



交換式ミルク出口を回転させる方向を間違えたり 90 度以上回転させたりするとフォーム分岐の破損につながります。ご注意ください。

4 ノズル部分の上部、中央部、下部を引き抜き抜いてください。



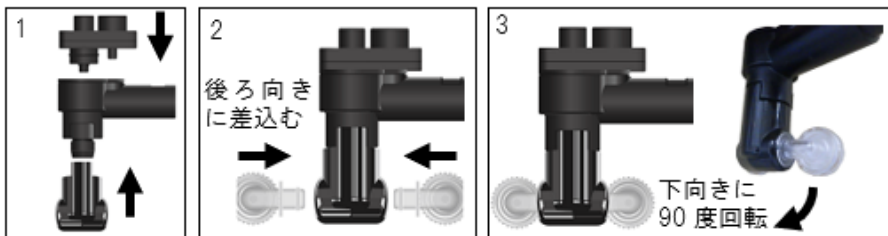
5 各部品を付属の清掃ブラシでブラッシングしながら流水ですすぎます。



※ミルクの抽出に問題がある場合や抽出口の汚れがひどい場合はミルクチューブクリーナー15ml+水 150ml の洗浄溶液を入れた容器に分解したミルク抽出口を約 10 分間浸け置きます。その後ブラッシングしながら流水ですすいでください。※交換式ミルク出口は消耗品です。ミルク汚れが取れなくなる、傷やクラックなどが見られた場合は交換が必要です。

6 破損や変形等しないよう十分注意しながら、先ほどと逆の手順で再度組み立てを行い、ミルク抽出口のノズル上部をしっかりと差し込んでください。

※交換式ミルク出口を回転させる方向を間違えたり 90 度以上回転させたりするとフォーム分岐の破損につながります。ご注意ください。



7 洗浄後、ミルク抽出口を組み立て、本体に取り付けます。ミルクチューブを差し込み、分解洗浄は完了です。



立下げ作業(クロー징)

マシンの電源を切る前に 12 ページから 15 ページの毎日のお手入れを行ってください。

電源 OFF

電源 OFF した時に、もし洗浄作業をしていなければ自動的にショートリンスが入りマシンの電源が切れます。
(洗浄作業をしていてもマシン内部の温度環境によりショートリンスが入る場合があります)

クラリスプロスマートフィルターの定期的な交換

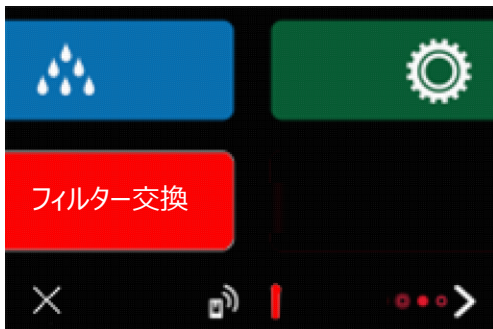
マシンは自動的にクラリスプロスマートフィルターの交換を促します。

所要時間約 10 分

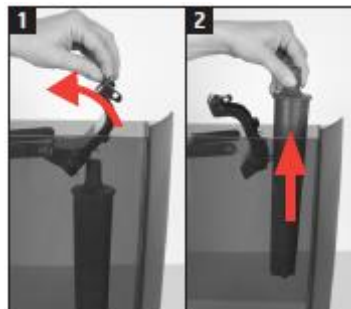
これは設置場所の水の水質（硬度）によって異なり、予め設定された水の硬度によって変わります。

フィルターの使用量が交換時期に到達すると、ロータリースイッチを押して表示される JURA コックピットの右上のフィルターサインが赤くなり、画面の右下に赤地で「フィルター交換」と表示されます。

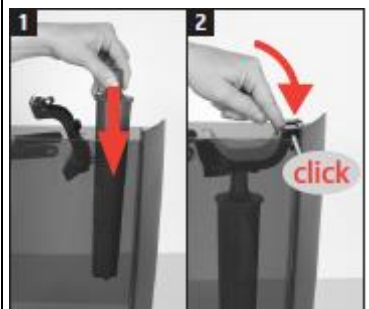
1 ○●○> の隣のボタンを長押しして表示される JURA コックピット画面の左下にフィルター交換の表示が出て表示の背景が赤くなります。



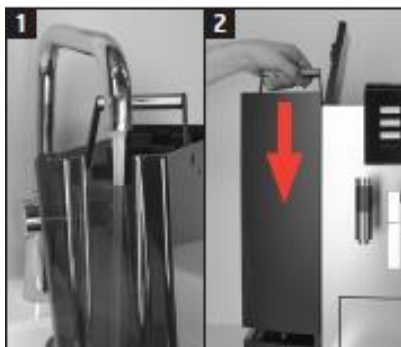
2 水を捨ててクラリスプロスマートフィルターを外します。



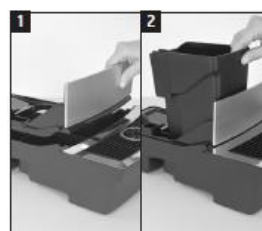
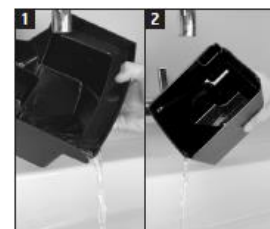
3 新しいフィルターを取り付けます。



4 給水タンクに MAX のラインまで水を入れた後、本体に取り付けます。マシンはフィルターを認識します。自動でフィルターのすすぎがスタートし、給湯ノズルよりお湯が出ます。



5 画面に【排水トレイを空にしてください】と表示が出たら排水トレイにたまった水を捨ててすすいだ後、排水トレイを本体に戻します。



クラリスプロスマートフィルターの効果と交換時期

- ・ クラリスプロスマートフィルター + (以降、クラリスフィルター) は水道水に含まれる鉛、銅、アルミニウム、塩素などのおいしいコーヒーには好ましくない物質を除去し、最適な水にろ過します。
- ・ クラリスフィルターはコーヒーマシンの加熱ブロックに堆積して風味と機能を損なう原因となる石灰分を 75%除去します。そのため、カルシウム (CA) 除去の頻度を大幅に削減することができます。クラリスフィルターを使用しなければ、半月に一度のカルシウム (CA) 除去が必要になり、さらには、コーヒーマシンの寿命を短くしてしまうことになります。クラリスフィルターを使わずにコーヒーマシンをご利用されたり浄化能力が落ちてしまった状態 (赤いフィルターシンボルが点灯している) で使い続けたりすることはお勧めいたしません。

[クラリスフィルターの使用期限]

- ・ クラリスフィルターの浄水能力には限りがあります。一定量に達すると交換時期をお知らせします。
- ・ 浄化能力は水の硬度で変わります。よりミネラルなどを含む硬度の高い水をご使用の地域の場合、浄化可能な水量は少なくなります。

[クラリスフィルターご利用可能日数の目安表]

※あくまでも目安であり、その数値を保証するものではありません

水の硬度(°dH)	一杯の標準量	一日の提供数	使用日数の目安	
			クラリス プロ	クラリス マキシ
1～5	100ml	10 杯	約 50 日	約 125 日
6～10			約 46 日	約 115 日
11～15			約 42 日	約 105 日
16～20			約 38 日	約 95 日
21～25			約 34 日	約 85 日
25～30			約 30 日	約 75 日

-  ※日本の環境で一般的な硬度 2.8°dH でのご使用では、クラリスプロスマートの場合約 50 日、クラリスマキシの場合約 125 日間フィルターをご利用いただける目安になります。

JURA コックピット

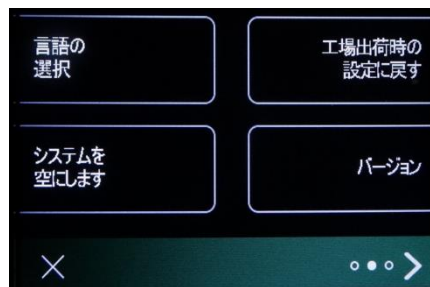
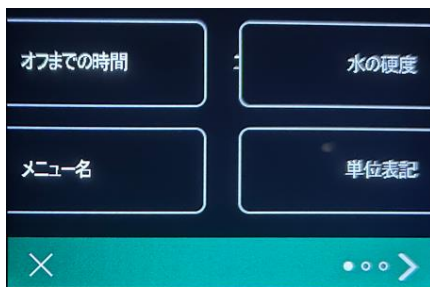
- 🔔 本製品の設定や清掃などを行う操作は  の隣のボタンを長押しして表示される JURA コックピットから行います。

JURA コックピット画面



- 🔔 左の青いクリーニングアイコンの隣のボタンを押すと清掃系、右の緑の歯車アイコンの隣のボタンを押すと設定系のメニューに入ります。

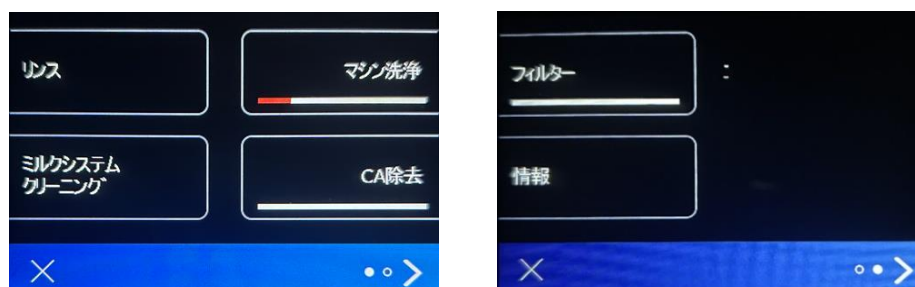
〔設定系メニュー〕



項目	操作内容
オフまでの時間	最後の抽出から無操作が続いた場合のマシンを自動的にオフにする時間を設定します。15分、30分、1-9時間（自動電源オフ機能は解除する事はできません）
メニュー名	メニュー名の表示を行うか行わないかを設定します。（メニュー名は変更できません）
水の硬度	使用する水の硬度を設定します。1°dH～30°dH(7-8 ページ参照)
単位表記	[ml] または [OZ] 表示の切り替えを行います。
言語の選択	表示するメッセージの言語を選択します。
システムを空にします	コーヒーマシン内部の水を抜きます。
工場出荷時の設定に戻す	コーヒーマシンの設定を工場出荷時の状態に戻します。
バージョン	ファームウェアのバージョン等を表示します。
ロック有効	各メニューの表示を行うか行わないかを設定します。
抽出時の量変更	抽出中に量を変更可能にするか不可能にするかを設定します。
メニュー設定	メニューボタン長押しでメニュー変更モードに入れるようにするか否かを設定します。

- 🔔 ※コーヒーマシンにスマートコネクトや Wi-Fi コネクトなどの通信系dongルを装着している場合、この設定系メニューの末尾に操作を行う為のメニューが表示されます（詳細は通信系dongルの取扱説明書を参照ください。通信系dongルはオプション販売です）

[清掃系メニュー]

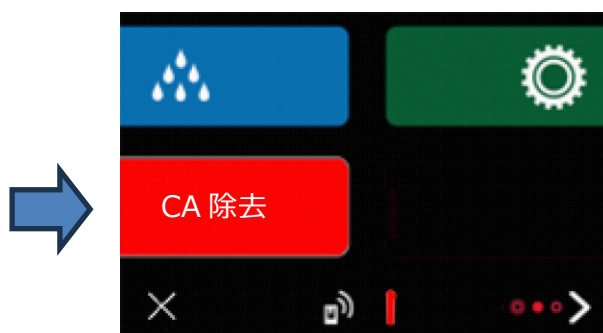


項目	操作内容
リンス	コーヒー経路とミルク経路のリンスを同時に行います。個別に実施はできません。
ミルクシステムクリーニング	ミルクチューブクリーナーを使用したミルク経路のクリーニングを行います。
マシン洗浄	クリーニングタブレットを使用したコーヒーマシンクリーニングを行います。
CA 除去	コーヒーマシンの水経路についたスケール（カルシウムなど）を除去します。
フィルター	フィルターをどこまで使用したかゲージで確認できます。
情報	クリーニングなどの情報を表示します。

CA(カルシウム・ミネラル分)除去

- 水本来の風味を残すため、クラリスフィルターは水の中のミネラル分を 100% 除去せずに 25% 残します。そのため、フィルターを使用していてもカルシウムなどのミネラル分(CA)はコーヒーマシン内部に堆積し定期的に CA 除去が必要になります。カルシウムなどのミネラル分が堆積した状態でコーヒーマシンを使用し続けると故障の原因になるので、コーヒーマシンの JURA コックピット画面(下図)に「CA 除去」の表示が見られたら CA 除去操作を行ってください。
- 準備するもの：スケール除去剤 3 個、スケール除去剤を溶かす水 500ml、すすぎ用水 500ml、500ml の排水が受けられる排水容器 1 個。
- 作業時間：約 45 分

- ① ○●○> の隣のボタンを長押しして表示する JURA コックピット画面の画面の左下に「CA 除去」と表示されている状態を確認します。



- ② CA 除去表示の隣のボタンを押し、画面右下の「スタート」の隣のボタンを押します。
- ③ 「水タンクからフィルターを取り出してください」と表示されたら水タンクからクラリスフィルターを取り出します。

- ④ 「排水トレイを空にしてください」と表示されるので、排水トレイを取り出して中の水を捨て、カス箱の中身も捨ててマシンに戻します。
- ⑤ 「CA 除去剤を水タンクに入れます」と表示されたら、給水タンクを外します。給水タンクに水 500cc とスケール除去剤 3 個を入れ、完全に溶かし(約 10 分必要)マシンにセットします(クラリスフィルターは外したまま)。
- ⑥ 排水容器をコーヒー抽出ノズルの下に置きます。



- ⑦ 右下の「次に」のとなりのボタンを押します。洗浄が始まり、断続的に洗浄液が出ます。
- ⑧ 「排水トレイを空にしてください」と表示されたら、排水トレイとカス箱を空にし、マシンに戻します。排水容器内の水も廃棄します。
- ⑨ 「水タンクをすすいでください」と表示されたら水タンクをマシンから外し、スケール除去剤が残らないように水洗いします。その後、水を MAX ラインまで入れてマシンにセットします(クラリスフィルターは外したまま)。
- ⑩ 排水容器をコーヒー抽出ノズルの下に置きます。
- ⑪ 右下の「次に」のとなりのボタンを押します。すすぎが始まり、断続的にすすぎ液が出ます。
- ⑫ 「排水トレイを空にしてください」と表示されたら、排水容器、排水トレイとカス箱を空にし、排水トレイとカス箱は中性洗剤とスポンジで洗浄し、マシンに戻します。
- ⑬ 水タンクを外し水を捨て、クラリススマートフィルターを取り付け、水を入れてマシンに戻します。

メニュー調整方法

- メニュー画面のメニューアイコン隣のボタンを長押し、メニュー調整アイコンの隣のキーを押すとメニュー設定画面に入ります。



- 変更可能なパラメーターは上の◀▶アイコンの隣のキーを押すと変わります。



- 値を変更したら、右下の「保存」の隣のボタンを押して設定を確定します。ここでコールドブリューやエクストラショットも設定できますが、設定した状態で通常のメニュー画面から抽出されます。

[変更可能なパラメーターとデフォルト値]

Page	メニュー名	濃さ	抽出量 (ml)	追加湯 (ml)	温度	ミルク 秒	フォーム 秒	ミルク 温度	フォーム 温度	ボーズ 秒	Extra Shot	Cold Brew
ページ 1	エスプレッソ	8/10	45 15-80		高							○
	アメリカーノ	7/10	70 25-240	50 0-240	中							○
	コーヒー	5/10	100 25-240		中							○
	ラテマキアート	8/10	45 25-240		高	4 0-45	22 0-45	中	中	20 0-60	○	○
ページ 2	フラットホワイト	5/10	60 25-240		中	14 0-45	2 0-45	中	中		○	○
	アメリカーノL	7/10	120 25-240		中							○
	コルタード	8/10	25 15-80		高	2 0-45	1 0-45	中	中			○
	カプチーノ	8/10	60 25-240		中		15 0-45		中		○	○
ページ 3	カフェラテ	5/10	90 25-240		中	7 0-45	3 0-45	中	中			○
	ミルク					20 0-45	0 0-45	中	中			
	熱湯		220 25-300		中							
	ミルクフォーム					0 0-45	10 0-45	中	中			

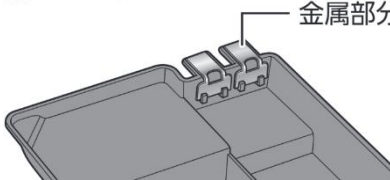
※二段になっている数字は、上の数字が工場出荷時の値、下の数字が変更できる範囲を示しています。

メッセージ表示（オペレーション上のアラート）

メッセージ	原因	アクション
水タンクに水を入れてください	水タンクが空になっています。 水タンクがきちんとセットされていません。 ※メニュー商品を抽出できません。	水タンクに水を補充する。 水タンクの取り付けを確認ください。
カス容器を空にしてください	カス箱が満杯です。 ※メニュー商品を抽出できません。	カス箱と排水トレイを空にしてください。
排水トレイを挿入してください	排水トレイがセットされていないか、または、 正常にセットされていません。	排水トレイをセットしてください。
豆容器が空です。	豆容器が空です。コーヒーを抽出することができません。 ※お湯、または、ミルクは提供できます。	豆を補充してください。
ミルクシステムクリーニング	ミルク経路の洗浄を促しています。	ミルクシステムの洗浄を行ってください。 (P14 参照)。
フィルターシンボルがディスプレイの下部に赤く点灯。 	クラリスプロスマートフィルターの交換時期を表しています。予め設定した使用水量に達しています。交換時期の目安は 17p の表を参考にしてください。	クラリスプロスマートフィルターを交換してください。
マシンを洗浄してください。	マシン洗浄を促しています。	タブレットクリーニングを行ってください。
CA 除去をしてください。	CA 除去を促しています。	弊社より販売している別売りカルシウム（CA）除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は 19 ページを参照されるか CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
適温になるまでお待ちください	マシンの加熱しすぎです。	電源を OFF にして内部の過熱ヒーターブロック冷えるまで数分間待ちます。再度、電源を ON にします。
排水トレイを空にしてください。	排水トレイが満杯です。（約 1600cc） ※この表示が出るとメニュー飲料を抽出できません。	排水トレイを空にしてください。

 上記以外のメッセージが表示された時には、メッセージを確認の上、主電源を切り弊社ブルーマチックジャパンコンタクトセンターへご連絡ください。

故障かなと思ったら

事象	原因	アクション
ミルクフォームの泡立ちが悪い、または、ミルクが泡立たない、ミルクを吸い上げない、飛び散る。	ミルク抽出口（フォームフローサー）が汚れています。	ミルクシステムの洗浄を実施し、ミルクシステムの分解洗浄を実施してください。
コーヒー濃度が不適切になった。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎる。このような場合、グラインダー自体にも負荷がかかり、マシン動作が止まる恐れがあります。	グラインダー設定を粗めに再設定して使用してください。（P.12） （弊社より販売の別売りカルシウム（CA）除去剤で CA 除去実施してください。CA 除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。（注意：CA 除去剤ご利用いただけないマシンが一部ありますので、弊社ホームページをご確認ください））
メニュー抽出が途中で止まり、豆容器が満杯にも係わらず、「豆容器に豆を入れてください」が一旦表示される。	豆容器内に異物や汚れで豆の流れが滞留していないか確認してください。	豆容器蓋を開けて、異物が有れば取り除き、油脂の付着による滞留があれば攪拌してください。
「排水トレイを空にしてください」が常に表示される。	排水トレイの金属コンタクト部分が汚れているか、濡れています。 	中性洗剤を使用して、排水が溜まる面を洗浄してください。 金属部分をきれいに洗った後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
「Error 2」または「Error 5」が表示される。	マシンは安全上の理由からヒータリング電源を止めることがあります。 寒冷地などの低温地帯において、もし、マシンが長時間に亘って冷たい状態にさらされた場合。	電源を入れ直してください。 寒冷地ではマシンを室温まで戻してください。 注：室温が零度以下になる場合、必ず水を抜いてください。詳細はブルーマチックジャパンコンタクトセンターへお問い合わせください。
他のエラーメッセージが表示される。	—	マシン主電源を切り、弊社ブルーマチックジャパンコンタクトセンターへお問い合わせください。

主な仕様

電源電圧	100V AC (50/60Hz)
消費電力	1200W
動作周囲温度	10℃～35℃
〃 湿度	80%以下
ポンプ圧力	最大 15 bar(静的圧力)
水タンク容量	5.0 リットル (フィルター無しの場合)
コーヒー豆用コンテナ容量	約 500g
コーヒー豆挽きカス容量	約 40 杯分 (濃さレベル 1 の場合)
電源ケーブル長	約 1.2m
重量	約 14.0 kg
サイズ(W × H × D)	373 × 470 × 361mm

本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています

(注) 凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を必ず抜いてください。

【簡易水抜き方法】

1	画面右下の ○●○➤ の隣のボタンを長押しして JURA コックピットの画面を表示させる。
2	歯車アイコンの隣のボタンを押して設定メニューを表示させる。
3	○●○➤ の隣のボタンを 1 回押して設定メニューを 2 ページ目に送る。
4	「システムを空に」の隣のボタンを押す。
5	「水タンクを空に」表示されるので、水タンクを本製品から外し空にして戻す。

<< XE >>

保証とアフターサービスについて

保証とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、不具合が直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理いたします。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 X10 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況（出来るだけ詳しく） |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 コールセンター：(045) 947-0804

受付時間：365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー系統、ミルク系統、抽出口の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

ミルク系統の洗浄には、専用のミルククリーナーを使って洗浄を行ってください。

ミルククリーナー(液体)を使用するときには直接手や肌に接触しないようにしてください。

コーヒー系統の洗浄には専用のコーヒーマシンクリーナーを使って洗浄を行ってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管してください。

着脱式給水タンクの水は毎日必ず取り替えてください。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使いください。

また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

タンクには熱湯やミルクなど水以外のものを入れないでください。

給水タンクを本体につけたまま給水を行なう時には本体のほかの部分に水がこぼれたりかかったりしないようにしてください。

マシンの清掃は内部に雑菌が繁殖しないよう取扱説明書にしたがい定期的に行なってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに弊社へご連絡ください。

コーヒーマシン 保証書

型 名	ユラ社製 コーヒーマシン X10
製 品 番 号	15684
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より 1 年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
 - (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障および損傷。
 - (3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障および損傷。
 - (4) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障および損傷。
 - (5) 消耗品、付属品等の消耗による交換および交換作業。
 - (6) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障および損傷。
 - (7) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障および損傷。
 - (8) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障および損傷。
 - (9) 保証書の提示が無い場合および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - (10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の

法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせください。

※保証期間は、お買い上げの日より 1 年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

250131